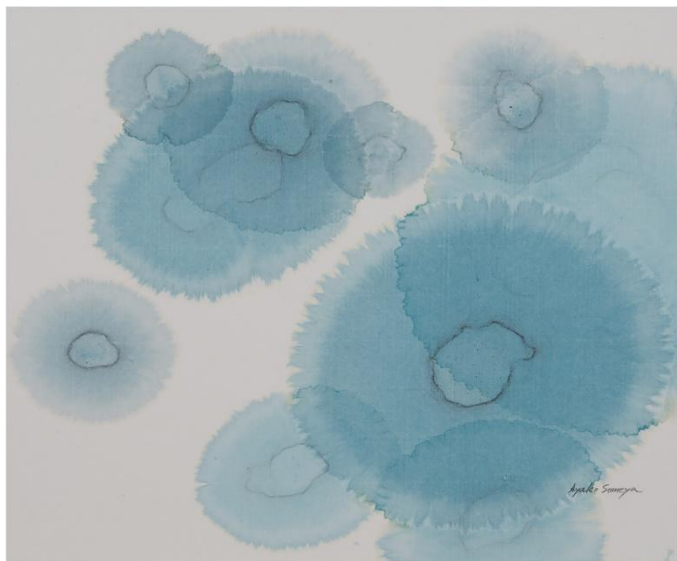


報道関係者各位

2025 年 7 月吉日
株式会社アトム

Ayako Someya + 新里明士 2 人展

銀河の怜瓏



株式会社アトム（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：青井茂、以下当社）は、東京・広尾の複合文化施設「コートヤード HIROO」にて、伝統的な技術に根ざしながらも現代的な視点によって作品を制作している陶芸家・新里明士と、書家 Ayako Someya による「Ayako Someya + 新里明士 2 人展：銀河の怜瓏」を 2025 年 7 月 26 日(土)～8 月 11 日(月・祝)に開催いたします。本展は、「宇宙」をテーマとした視覚と味覚を通じた体験型の展覧会です。作品鑑賞とともに、オリジナルのカクテルを提供する一夜限りの特別なマリージュ(7 月 25 日 オープニングレセプション及びプレビュー)をご堪能いただけます。

また、展覧会を記念したスペシャルコラボレーションとして、Ayako Someya が手掛けたオリジナル・ラベルの国産プレミアム・ウォッカ「KEYS&BRICKS」と、新里明士による特製の酒杯をセットにして販売することも予定しております。視覚、味覚、嗅覚を刺激する新しい「宇宙」を、是非ご体感ください。

■ テーマ「宇宙」

「書」と「陶」という私たちに馴染みの深い伝統的な技法を用いながら、社会状況や普遍的(であると思われるような)事柄に対して問いを深める作品によって、現在、日本はもとより世界で注目を集める Ayako Someya(書)と新里明士(陶芸)の 2 人展を開催します。

大気や鉱物の組成を化学記号(式)で書き表してきた Someya と、波動であり粒子である光を納める器を創ってきた新里は、「宇宙」をテーマとした新作を発表します。展覧会タイトルである「Ayako Someya + 新里

明士 2 人展：銀河の玲瓏」は、宮沢賢治(1896～1933 年)による「青森挽歌」の一節である「きしや(注：汽車)は銀河系の玲瓏レンズ 巨きな水素のりんごのなかをかけてゐる」※1 にインスパイアされたものです。100 年以上も前に自らが深く帰依する法華經に多大な影響を受けつつ、アインシュタイン(Albert Einstein, 1879～1955 年)の学説を受容・理解した宇宙観(『銀河鉄道の夜』では、「これほど不完全な幻想第四次の銀河鉄道なんか、どこまででも行ける筈でさあ」※2 と光速を超える銀河鉄道を表しています)を持つ賢治の世界を、2 人のアーティストが独自の創作スタイルや技法を駆使して如何に可視化・作品化するのか期待が高まります。

気鋭の哲学者であるユク・ホイ(Yuk Hui, 生年不詳)は、その著書『中国における技術への問い 宇宙技芸試論』(2016 年)の中で、「ギリシア的な技術をあらゆる技術の起源と考えてしまうなら、それは完全な

方向の喪失/東洋の消失だといえる –そして不幸なことに、これこそいま起こっていることにほかならない」※3 と述べています。Someya と新里の邂逅によるケミストリー(化学反応)が紡ぐ、多様な宇宙(史)観が照応する展示空間をお見逃しなく。

- ・ ※1：「青森挽歌」引用元：『【新】校本 宮澤賢治全集』第二巻 詩[1]、筑摩書房、1995 年、156 ページ
- ・ ※2：『【新】校本 宮澤賢治全集』第十一巻 童話[4]、筑摩書房、1996 年、150 ページ
ちなみに、アインシュタインは特殊相対性理論(1905 年発表)で、光速は普遍的な速度であり、いずれの慣性系から見ても一定であり、質量を有する物体が光速まで加速するためには無限のエネルギーを必要とするため、光速を超えることは不可能であると説明しています。
- ・ ※3：ユク・ホイ『中国における技術への問い 宇宙技芸試論』伊勢康平訳、ゲンロン、2022 年、14 ページ

■ 展覧会概要

タイトル：Ayako Someya + 新里明士 2 人展：銀河の玲瓏

会期：2025 年 7 月 26 日(土)～8 月 11 日(月・祝)

オープニングレセプション及びプレビュー：2025 年 7 月 25 日(金) 18:00～20:00

営業時間：12:00～19:00

休日：最終日の祝日を除く、月曜日は休廊

HP：<https://cy-hiroo.jp/gallery/ginganoreirou/>

主催：株式会社アトム

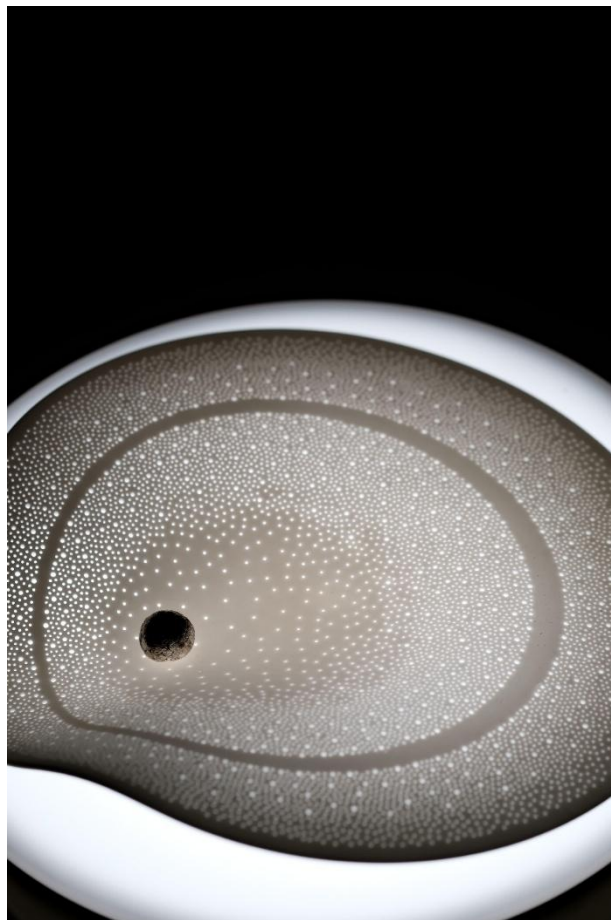
企画：宮津大輔

キュレーション：丹原健翔 & 宮津大輔

協力：東京画廊 + BTAP、Yutaka Kikutake Gallery、ADIATE 株式会社



【参考画像】 Ayako Someya 《Lazulite》
2021, Ink on paper, Courtesy of the artist and Tokyo Gallery+BTAP.



新里明士 《光軌 trajectory of light》
2024, Porcelain, Courtesy of the artist and Yutaka Kikutake Gallery

■ スペシャルコラボレーション

Ayako Someya によるオリジナルラベルのウォッカと新里明士による酒杯



展覧会を記念したスペシャルコラボレーションとして、Ayako Someya が手がけたオリジナル・ラベルによる国産プレミアム・ウォッカ「KEYS&BRICKS」と新里明士による特製の酒杯をセットにして販売いたします。

※数に限りがございます

■ アーティストからのコンセプト及びメッセージ

私たち人間の体は、主に酸素、炭素、水素、窒素などの元素で構成されている。その細胞の隅々に染み渡り、『Keys&Bricks』を口にされた皆様心が豊かなひとときを過ごされますように

— Ayako Someya

※商品写真はイメージです

KEYS & BRICKS
PREMIUM VODKA
PRODUCT OF JAPAN

Keys & Bricks（キーズ&ブリックス）

2016 年に発売を開始した国産のプレミアムウォッカブランドです。国産米を原料としてプレーンのウォッカをはじめ、マンゴー、レモン、スダチ、シソなどのフレーバーウォッカが主力商品です。日本国内のウォッカ市場では、トップのセールスを誇り、五つ星ホテルのミニバー全室に導入されるなど、ラグジュアリーホテルへの導入が多数あります。 <https://www.keysandbricks.com/>

■ プロフィール



新里明士（にいさと あきお）

1977 年千葉県に生まれ、2001 年多治見市陶磁器意匠研究所を修了。イタリアのファエンツァ国際陶芸展新人賞受賞(2005 年)で頭角を表す。素地を透かし彫りにし、透明釉を充填して焼成する「蛍手」技法を応用した作品《光器》シリーズで、用と非用や有と無の根源的な境界へと迫り高い評価を受ける。近年は、個展「曲/面」(Yutaka Kikutake Gallery・東京、2023 年)などで、繊細な技法の焼成課程における破れや割れを積極的に捉えた作品群で常識的な審美観に一石を投じる。また、「和巧絶佳展－令和時代の超工芸」(パナソニック 汐留美術館・東京、2020 年)をはじめとする革新的工芸に焦点を当てた展覧会においても、圧倒的な存在感を示している。



Ayako Someya (あやこ そめや)

1981 年東京都生まれ。大学で英米文化を学んだ後に英国留学を経て、伝統書の世界で「書」の基礎を習得する。斯界で敬遠されがちであった「滲み」に美を見出し、世界共通語である化学記号を揮毫することにより前衛書の新たな可能性を拓いた。アジア最大規模のアートフェア「West Bund Art & Design」（上海、中国、2021 年）」で注目を集め、コロナ禍における社会問題にも言及した個展「呼吸するように」（東京画廊+BTAP・東京、2023 年）は大きな話題となった。また最近、グループ展「Ginza Curator's Room 006 宮津大輔 『室礼の美』」（思文閣 銀座・東京、2023 年）への参加や、フォーシーズンズホテル大阪への大型作品恒久設置などを通じて活動の幅を広げている。

■ 施設情報



施設名：コートヤード HIROO

所在地：東京都港区西麻布 4-21-2

電話番号：03-6427-1185

H P : <https://cy-hiroo.jp/>

経済的な発展や人口増加のピークを越えたこれからの日本に必要なのは、新しい豊かさのモノサシです。私たちが目指したのは、欧米のコートヤード（中庭）文化を日本流にカスタマイズすること。その考えに最も適していたのは、古き良き建築物を周りの自然環境を含めて引き継ぎ、現代に合わせて再生するという方法でした。緑豊かなセミパブリックの空間で、くつろぐ人、仕事を人、カラダを動かす人、暮らす人々がボーダレスに出会い、交流する。そんな新しい暮らしのあり方を、ここから発信していきます。

■ 会社情報



会社名：株式会社アトム

所在地：東京都千代田区麹町 4-4-7 アトム麹町タワー

代表者：青井茂

設立：1959（昭和 34）年 1 月

電話番号：03-5210-8855

H P : <https://a-tom.jp/>

不動産ビジネス、投資ビジネスを軸に、アート、スポーツ、食の文脈から今ある資産を再定義し、「地方覚醒」を手掛けています。この時代に生きる一人ひとりの想いや情熱を敏感に受け止めながら、100 年後も残る文化とは何かを想像し、世界を舞台に様々な分野でひとつひとつ足跡を残すために、これからも挑戦を続けていきます。

【本件に関するお問合せ】

株式会社アトム コートヤード HIROO

garou@cy-hiroo.jp 03-6427-1185